



2020年4月24日

各位

会社名 阪和興業株式会社
代表者名 代表取締役社長 古川 弘成
(コード: 8078 東証第一部)
問合せ先 取締役 専務執行役員 中川 洋一
(TEL. 03-3544-2000)

減損処理による損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年3月期第4四半期決算（2020年1月1日～2020年3月31日）において、持分法適用関連会社であるSAMANCOR CHROME HOLDINGS PROPRIETARY LTD.（以下、SAMANCORといたします。）に関して、減損処理による損失を計上する見込みとなりました。

また、当損失計上を含む最近の業績動向等を踏まえ、2020年2月12日に公表しました2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の業績予想を修正することを本日開催の取締役会において決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. SAMANCOR への投資に関する減損処理について

当社は、当社及び50.1%出資の連結子会社である日本南ア・クロム株式会社を通じて、クロム鉱石の採掘及びフェロクロムの生産・販売を行う南アフリカ共和国所在のSAMANCORに出資し、議決権の33.5%を直接及び間接に所有しています。

当社は、SAMANCOR株式の取得価額の内、同社の将来収益として見込んだ価値を鉱業権等の資産として認識していますが、今般、足元のステンレス鋼やフェロクロム価格の下落及びSAMANCORの操業・採算の状況などを踏まえて、SAMANCORから提出された中長期の事業計画を第三者機関も交えて検証しました。その結果、当該資産の期末簿価の全額を回収することは困難であると判断し、減損処理することとなりました。これに伴う連結財務諸表及び個別財務諸表に与える影響は、以下のとおりです。

(連結)

SAMANCORの株式に含まれる鉱業権等の期末簿価約273億円を減損処理し、持分法による投資損失に含めて営業外費用に計上いたします。これにより、2020年3月期通期のSAMANCORからの持分法による投資損失の合計は、約349億円になる見込みです。

なお、非支配株主に帰属する当期純損失を考慮した後の親会社株主に帰属する当期純利益への影響につきましては、本減損処理による影響額が約180億円、通期合計では約232億円になる見込みです。

(個別)

当社が保有するSAMANCOR株式及び連結子会社である日本南ア・クロム株式会社の株式を減損処理し、約274億円を関係会社株式評価損として特別損失に計上いたします。

なお、当該関係会社株式評価損は、連結財務諸表上では消去されるため、連結損益に与える影響はありません。

2. 通期連結業績予想の修正について

(1) 修正の内容

2020年3月期通期業績予想の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

| | 連結売上高 | 連結営業利益 | 連結経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり連結当期純利益 |
|---------------------------|------------------|---------------|---------------|-----------------|---------------|
| 前回発表予想（A） | 百万円 2,000,000 | 百万円 31,000 | 百万円 18,500 | 百万円 10,700 | 円 銭 263.30 |
| 今回修正予想（B） | 1,907,000 | 27,300 | △12,600 | △14,000 | △344.51 |
| 増減額（B－A） | △93,000 | △3,700 | △31,100 | △24,700 | △607.81 |
| 増減率（％） | △4.7 | △11.9 | — | — | — |
| （ご参考）前期連結実績 （2019年3月期） | 2,074,600 | 28,904 | 23,395 | 13,914 | 342.41 |

(2) 修正の理由

連結売上高、連結営業利益につきましては、各事業セグメントにおいて需要が弱含むなか、当社の取扱数量が総じて減少したほか、石油製品や各種金属商品の価格が大きく下落したことなどにより、事業収益が低下し前回公表値を下回る見込みとなりました。

連結経常利益につきましては、「1. SAMANCOR への投資に関する減損処理について」に記載のとおり、持分法による投資損失約273億円を営業外費用に追加計上することなどから、経常損失となる見込みです。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、2020年4月1日付「投資有価証券評価損の計上に関するお知らせ」で公表した時価のある有価証券を含む保有有価証券の減損処理により、約66億円を投資有価証券評価損として特別損失に計上することなどから、直近で公表した通期予想を大きく下回る見込みとなりました。

なお、2019年6月5日に開示しました当社の連結子会社であるHANWA SINGAPORE (PRIVATE) LTD. で発生した取立遅延債権につきましては、現時点では当期の連結業績に与える影響額が未確定であることから、業績予想数値には織り込んでおりません。

3. 配当について

期末配当予想につきましては、2020年2月12日に公表した1株あたり25円から変更はありません。

（注）上記の業績予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

（ご参考）今後の対応方針について

当社グループは、2016年度から2019年度までの4か年にわたる中期経営計画において売上高2兆1,000億円、経常利益350億円、純資産2,000億円を実現することを目指してまいりましたが、上述のとおり、2019年度の連結業績は経常損失となる見込みです。

SAMANCOR 株式会社については、上記の減損処理により資産価値をめぐる処理に目処がついたものの、これらの業績を踏まえ、当社が現在策定中の次期中期経営計画においては、キャッシュ・フローの重視及び保有資産の見直しなどにより、財務規律の維持・強化と資本効率の向上にも取り組んでいく方針です。

以 上